

- 問1 北海道を訪れる外国人観光客の動向について、国・地域別の割合では台湾・韓国・中国が全体の60%以上を占めています。これらの国々が含まれる地域名称と、来道者の約90%が利用している交通手段の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
1. 東南アジア / 航空機 2. 東アジア / 鉄道 (新幹線) 3. 東アジア / 航空機 4. 北米 / 船舶
- 問2 北海道の石狩平野では、かつて稲作に適さない水分を多く含んだ泥炭地が広がっていました。この土地を農地に変えるために、他の場所から性質の異なる土を運び入れ、もとの土と混ぜ合わせて土壌を改良する方法が行われました。この技術の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 客土 2. 干拓 3. 輪作 4. 開拓
- 問3 世界自然遺産である知床半島を含む北海道の東部沿岸では、夏季に「海霧」と呼ばれる濃い霧が発生しやすい。この現象の要因となる「季節風」と「海流 (親潮)」の関係を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
1. オホーツク海からの冷たい季節風が、親潮の影響で冷え切った陸地にぶつかり、上昇気流が発生して雲を作るため。 2. 太平洋からの暖かく湿った季節風が、寒流である親潮によって冷やされた海面の上を通過することで水蒸気が凝結するため。 3. 南からの暖かく湿った季節風が、対馬海流の影響で温度が上昇し、空気中の水蒸気量が飽和状態に達するため。 4. 大陸からの冷たく乾いた季節風が、暖流である黒潮によって温められた海面から大量の水蒸気を供給されるため。
- 問4 北海道の南東部に位置する十勝平野では、その広大な土地と冷涼な気候を活かした大規模な農業が行われています。この地域における農業の特色を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. 大消費地に近い立地を活かして、ビニールハウスを用いた施設園芸農業が行われている。 2. 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。 3. 豊かな水資源を利用した大規模な稲作が行われ、米の単作地帯となっている。 4. 温暖な気候を利用して、冬でもレタスなどの野菜を栽培する促成栽培が行われている。
- 問5 冬の北海道において、北東部の海域が白い氷で覆い尽くされる「流氷」が見られる海域の名前と、その氷が形成される場所の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
1. 太平洋 — カムチャツカ半島沿岸 2. 日本海 — サハリン沿岸 3. 瀬戸内海 — 中国大陸沿岸 4. オホーツク海 — シベリア沿岸
- 問6 石狩川はかつて、平野部で非常に激しく蛇行して流れており、大雨のたびに深刻な洪水被害をもたらしていました。この問題を解決し、土地を有効活用するために明治時代以降に行われた河川改修工事の内容と、その後の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
1. 川の周囲に堤防として大規模な防風林を設置し、冬の北西の季節風による農作物への塩害を防ぐことで、畑作が中心の地域となった。 2. 川底を大幅に掘り下げて水深を確保する工事が行われたことで、日本海側から内陸部まで大型の貨物船が航行できる運河として整備された。 3. 川の蛇行部分を切り離して直線化する工事が行われ、排水が改善されたことで、湿地帯だった土地が広大な水田へと生まれ変わった。 4. 川の流れをせき止める巨大な多目的ダムを平野部に連続して建設し、水力発電による電力を周辺のアルミニウム工場に供給するようになった。
- 問7 北海道の根釧台地にある別海町と、内陸の盆地に位置する旭川市の夏の気候を比較した際、別海町に見られる特徴と、それに関連した土地利用の様子を述べた文として正しいものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. 旭川市に比べて冬の積雪量が圧倒的に多いため、冬の間の産業として酪農ではなく林業が中心となっている。 2. 旭川市に比べて降水量が極端に少なく、夏は干ばつに見舞われやすいため、大規模なダムと灌漑施設を利用した酪農が行われている。 3. 旭川市に比べて夏の気温が明らかに低く、沿岸部から広がる濃霧の影響を受けやすいため、多くの土地が牧草地として利用されている。 4. 旭川市よりも夏の気温が高く、日照時間が長いので、広大な土地を利用した稲作や畑作が盛んに行われている。
- 問8 石狩川の上流域に位置し、旭川市などを中心とする上川盆地で見られる大規模な農業の特色として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 大規模な機械を用いた、小麦やてんさい (ビート) を生産する畑作が中心の地域である 2. 石狩川の豊富な水資源と土地改良によって作られた、広大な水田が広がる稲作地帯である 3. 冷涼な気候を活かして、牛を飼育し生乳を生産する酪農が最も盛んな地域である 4. 夏の涼しさを利用して、キャベツやレタスなどを出荷する高原野菜の栽培が中心である
- 問9 日本の各地域の農業を比較した統計において、北海道は農業従事者一人あたりの農業産出額が約1570万円となっており、他地域の平均である約310万円と比べて極めて高い数値を示しています。このような北海道の農業を支える背景として最も適切なものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
1. 都心に近い立地を活かし、限られた土地に多くの労働力を投入して単位面積あたりの収益を上げる集約的な農業を行っている。 2. 農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広く、大型の機械を導入することで生産性を高めている。 3. 気候が温暖であることを利用し、ビニールハウスなどの施設を用いて他の地域より出荷時期を早める促成栽培が主流である。 4. 傾斜地の多い地形を活かして段々畑を作り、果樹などの高付加価値な作物を少人数で栽培している。
- 問10 北海道の各地域における就業者の状況について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものはどれですか。なお、北海道では道東や道南の広い範囲において、特定の産業分類の数値が高い傾向にあります。 (2026年 三重県公立入試 類似)
1. 自然景観を活かした観光業や地域のサービス業が発達しているため、多くの市町村で第三次産業の就業者が高い割合を占めている。 2. 農業産出額が全国トップであるため、多くの市町村で第一次産業の就業者数が全体の過半数を占めている。 3. 大規模な工業団地の整備が進んだ結果、道内全域で製造業に従事する第二次産業の割合が第三次産業を上回っている。 4. 札幌市などの大都市圏のみに商業が集中しているため、地方部では第二次産業の就業者が最も多い。
- 問11 北海道の東部、釧路から中標津にかけて広がる、数十キロにわたって牧草地や牧場が続く大規模な農業地域を何といいますか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 石狩平野 2. 十勝平野 3. 根釧台地 4. 上川盆地
- 問12 北海道の北端に位置し、中心部に利尻山という火山をもつ人口約5000人の島々では、その豊かな自然景観が国立公園に指定されています。この地域の自然環境を活かした観光業とともに、古くから地域経済を支えてきた、高級ブランドとしても名高い特徴的な産業はどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. かつての金山跡を中心とした歴史的遺産による観光開発 2. 冷涼な夏の気候を活かしたレタスなどの高原野菜の栽培 3. 寒冷な海域の特性を活かした昆布の養殖や漁業 4. 温暖な気候を利用したサトウキビの生産と加工

答え合わせ・解説

問1	答え 3 東アジア / 航空機	北海道を訪れる外国人観光客は、地理的に近い台湾、韓国、中国といった東アジアの国・地域からの人々が中心となっています。また、北海道は島国である日本の中でも北部に位置し、海外との往来には移動時間の短い航空機が主に利用されており、その割合は約9割に達しています。
問2	答え 1 客土	石狩平野などの低湿地には、枯れた植物が腐敗せずに堆積した「泥炭地」が多く分布しており、そのままでは水はけが悪く養分も乏しいため、稲作には向きませんでした。そこで、別の場所から肥沃な土や砂を運んでくる「客土（きゃくど）」という技術が大規模に行われました。これにより土壌の質が向上し、現在のような大規模な稲作地帯へと発展した歴史があります。選択肢にある「干拓」は海や湖を陸地にすること、「輪作」は同じ土地で異なる種類の作物を交互に栽培することを指します。
問3	答え 2 太平洋からの暖かく湿った季節風が、寒流である親潮によって冷やされた海面の上を通ることによって水蒸気が凝結するため。	北海道の東方沖には、北から流れてくる寒流の親潮（千島海流）が位置しています。夏、太平洋側から吹き込む暖かく湿った季節風が、この冷たい海面によって下から冷やされることで、空気中の水蒸気が細かい水滴（霧）となり、大規模な海霧が発生します。これが日照不足の原因となり、地域の農業に影響を与えることもあります。
問4	答え 2 輪作を中心とした大規模な畑作が行われ、あわせて酪農も盛んである。	北海道の十勝平野は、日本を代表する畑作地帯です。1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を導入した大規模な農業が展開されています。ジャガイモ（馬鈴薯）、てんさい（ビート）、豆類、小麦などを組み合わせた畑作のほか、乳牛を飼育して生乳を生産する酪農も組み合わせられているのが大きな特徴です。
問5	答え 4 オホーツク海 — シベリア沿岸	流氷は、冬にシベリア沿岸で凍った海水が、季節風や海流の影響で成長しながらオホーツク海を南下することで発生します。北海道の北東部に位置するオホーツク海沿岸は、世界的に見ても流氷が到達する緯度が非常に低い地域として知られており、冬特有の自然現象となっています。
問6	答え 3 川の蛇行部分を切り離して直線化する工事が行われ、排水が改善されたことで、湿地帯だった土地が広大な水田へと生まれ変わった。	かつての石狩川は全長が現在の約1.4倍もあり、非常に蛇行が激しい川でした。洪水を防ぎ、泥炭地の水を抜いて農地（水田）として利用しやすくするため、蛇行している部分をショートカット（捷水路工事）して流れを直線化する工事が進められました。これにより、水はけが良くなり、石狩平野は北海道を代表する米どころへと発展しました。工事によって切り離された蛇行の跡は、現在も各地に「三日月湖」として残っています。
問7	答え 3 旭川市に比べて夏の気温が明らかに低く、沿岸部から広がる濃霧の影響を受けやすいため、多くの土地が牧草地として利用されている。	内陸の盆地にあり夏に気温が上がりやすい旭川市に対し、根釧台地に位置する別海町などは海霧の影響を強く受け、夏でも低温であることが統計資料などからも読み取れます。この冷涼な気候を背景に、土地利用においても耕地や果樹園ではなく、牧草地が圧倒的な面積を占めているのが根釧台地の大きな特色です。
問8	答え 2 石狩川の豊富な水資源と土地改良によって作られた、広大な水田が広がる稲作地帯である	北海道の旭川市周辺に広がる上川盆地は、かつては泥炭地などが広がる耕作に不向きな土地もありましたが、大規模な土地改良と石狩川の水の利用によって、日本有数の稲作地帯へと発展しました。北海道において酪農が盛んなのは主に根釧台地、畑作が盛んなのは十勝平野といったように、地域ごとの農業の特色を区別することが重要です。
問9	答え 2 農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広く、大型の機械を導入することで生産性を高めている。	北海道の農業は、明治時代以降の開拓の歴史を背景に、他都府県と比較して1戸あたりの経営規模が非常に大きいのが特徴です。広大な耕地を効率よく管理するため、大型のトラクターやコンバインなどの機械化が進んでおり、その結果として、農業従事者一人あたりの生産額が他地域を大きく上回る大規模経営が実現しています。
問10	答え 1 自然景観を活かした観光業や地域のサービス業が発達しているため、多くの市町村で第三次産業の就業者が高い割合を占めている。	現代の日本の産業構造では全国的に第三次産業の割合が高いですが、北海道においてもその傾向は顕著です。広大な土地を利用した農業が盛んな道東地域や、歴史的景観や温泉資源を持つ道南地域などでは、観光客向けのサービス業や小売業が地域経済を支える重要な基盤となっています。そのため、都市部以外の市町村であっても、統計上は第三次産業の就業者割合が高い水準で維持されています。
問11	答え 3 根釧台地	釧路と根室の間に広がるこの地域は、火山灰土が分布していることや、夏の気温が上がりにくい気候特性から、耕作よりも家畜の飼料となる牧草の生育に適しています。そのため、広大な土地を利用した大規模な酪農が発達しました。十勝平野は畑作、石狩平野や上川盆地は稲作が盛んな地域であり、それぞれ農業の特色が異なります。
問12	答え 3 寒冷な海域の特性を活かした昆布の養殖や漁業	利尻島や礼文島は、美しい火山（利尻山）を中心とする景観から利尻礼文サロベツ国立公園に指定されています。この地域では、冷たい海流に育まれた良質な昆布が「利尻昆布」として全国的なブランドとなっており、漁業や養殖業が島にとって欠かせない基幹産業です。近年は、この伝統ある産業を維持するために、若手漁師の育成などの後継者支援も積極的に行われています。